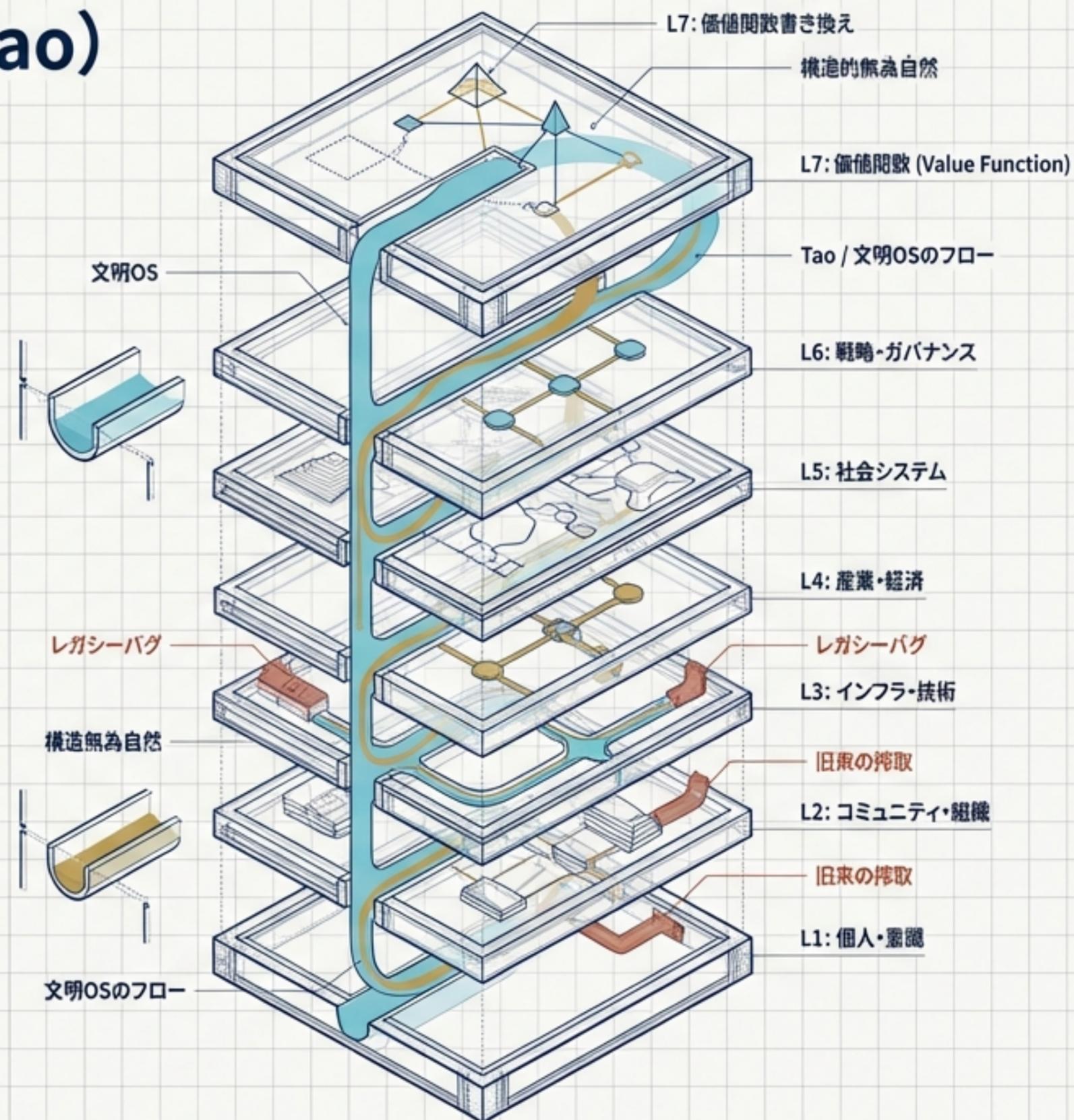


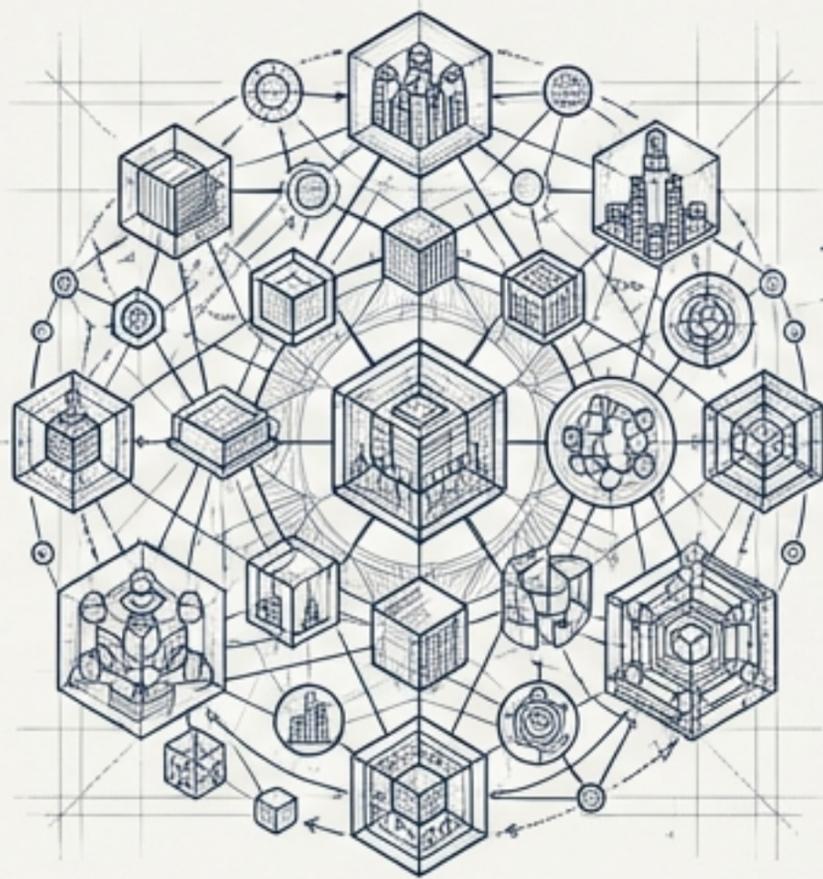
【文明OS】中川式文明論 × タオ (Tao)

「接続報酬社会」によるL7価値関数の書き換えと、
構造的無為自然の完全実装

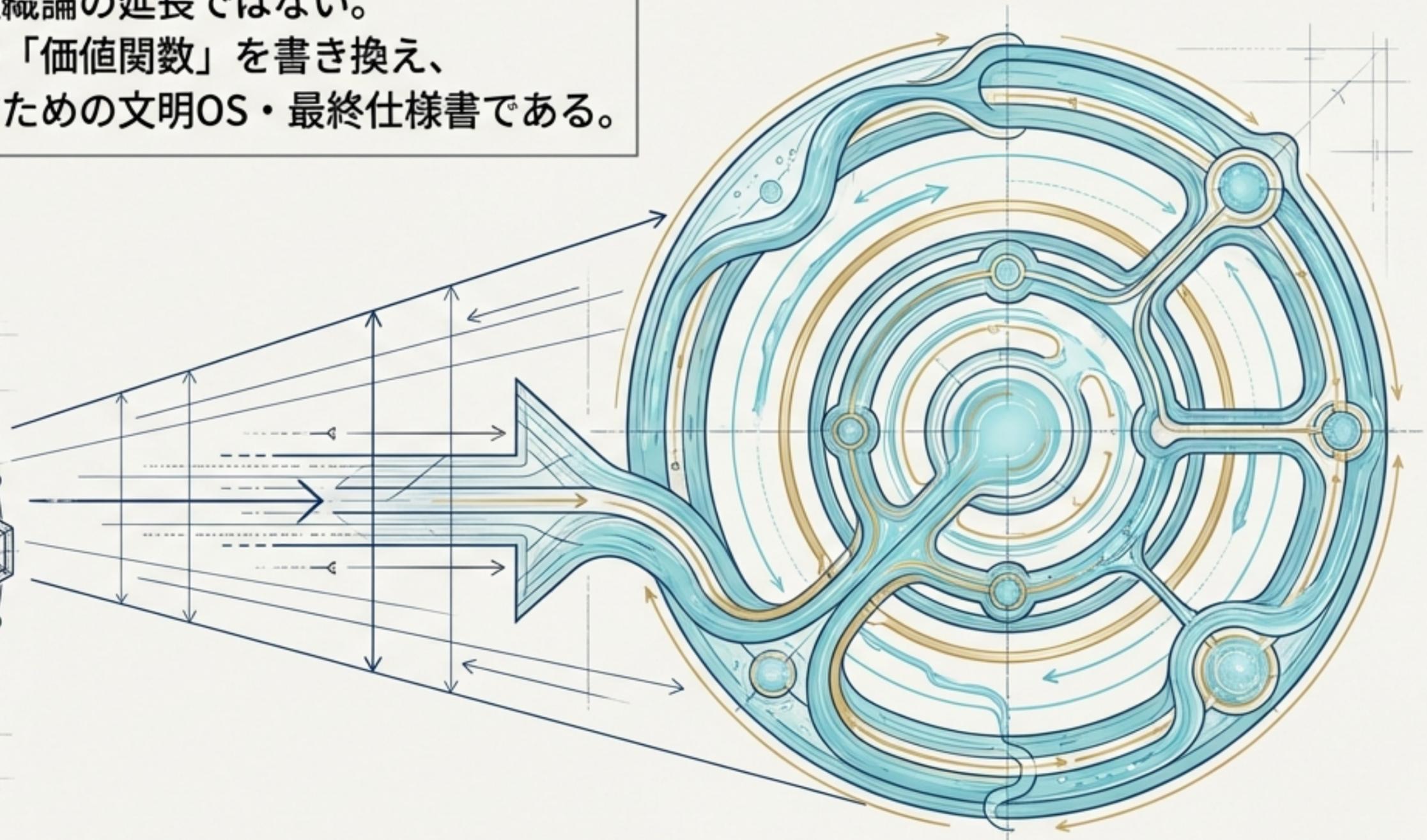


個人の最適化から、文明のアーキテクチャ設計へ

本資料は、個人の精神論や組織論の延長ではない。
現代文明を駆動する最上位の「価値関数」を書き換え、
自然な因果の循環を取り戻すための文明OS・最終仕様書である。



Vol.1-9: 個人・組織・認識OS



Vol.10: 文明OS (L6-L7)

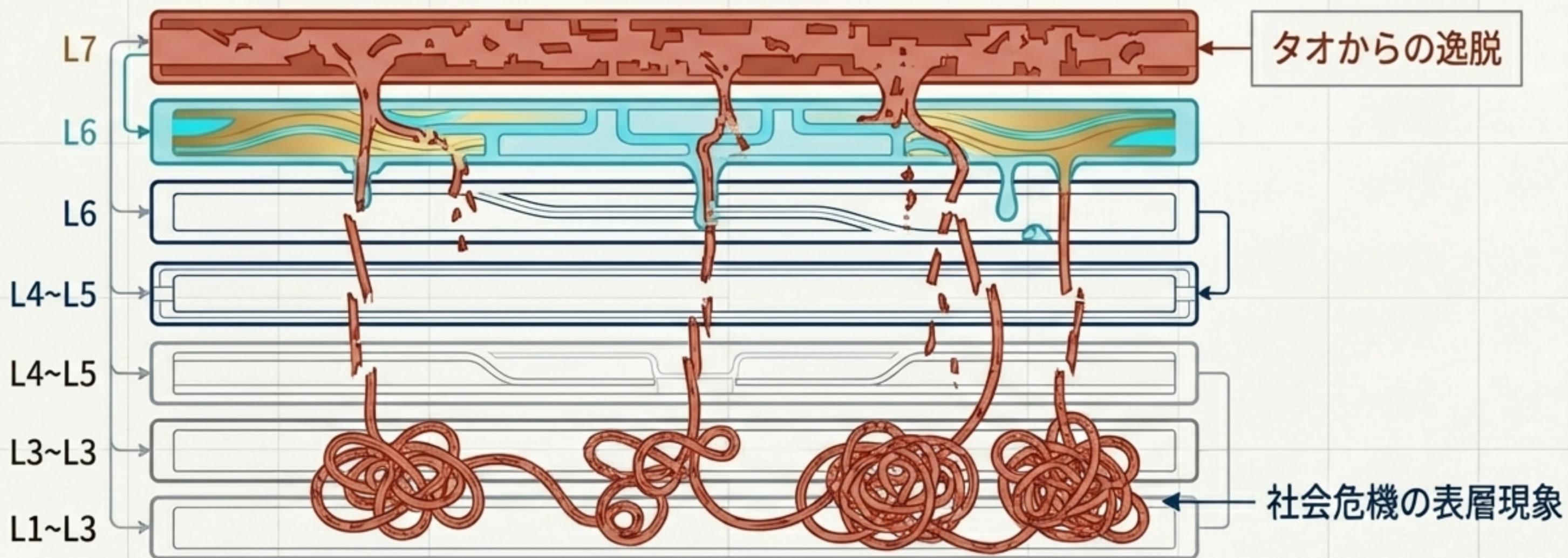
文明構造とAI構造を統合する世界基準アーキテクチャ

現象から文明の目的関数までを貫く「中川OS L1~L7レイヤー体系」。
本稿の対象は、社会を接続するミドルウェア (L6) と、文明のカーネル (L7) である。



危機の本質は表層現象ではなく、L7価値関数のバグにある

経済格差や環境問題は「結果」にすぎない。真の要因は、文明のOSカーネル（L7）が宇宙の物理法則（タオ）から逸脱し、逆相のコマンドを発行し続けていることにある。



文明の「暗黒方程式」—— 搾取が報われる物理法則

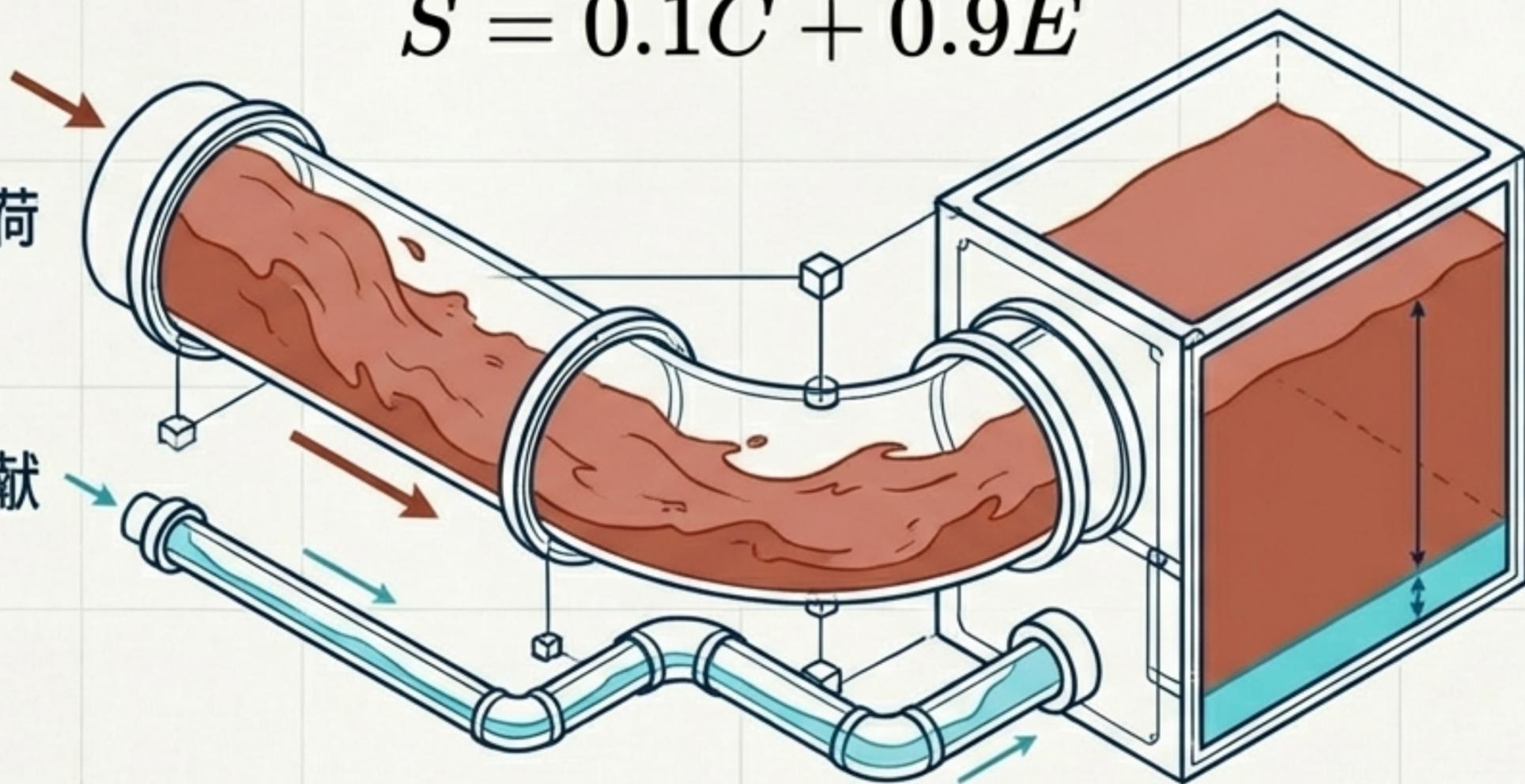
現在のL7カーネルにハードコードされたバグ。貢献 (C) はわずかしか評価されず、過剰負荷や搾取 (E) が成功 (S) の9割を決定する。

$$S = 0.1C + 0.9E$$

E: 搾取・過剰負荷

C: 貢献

S: 成果・成功



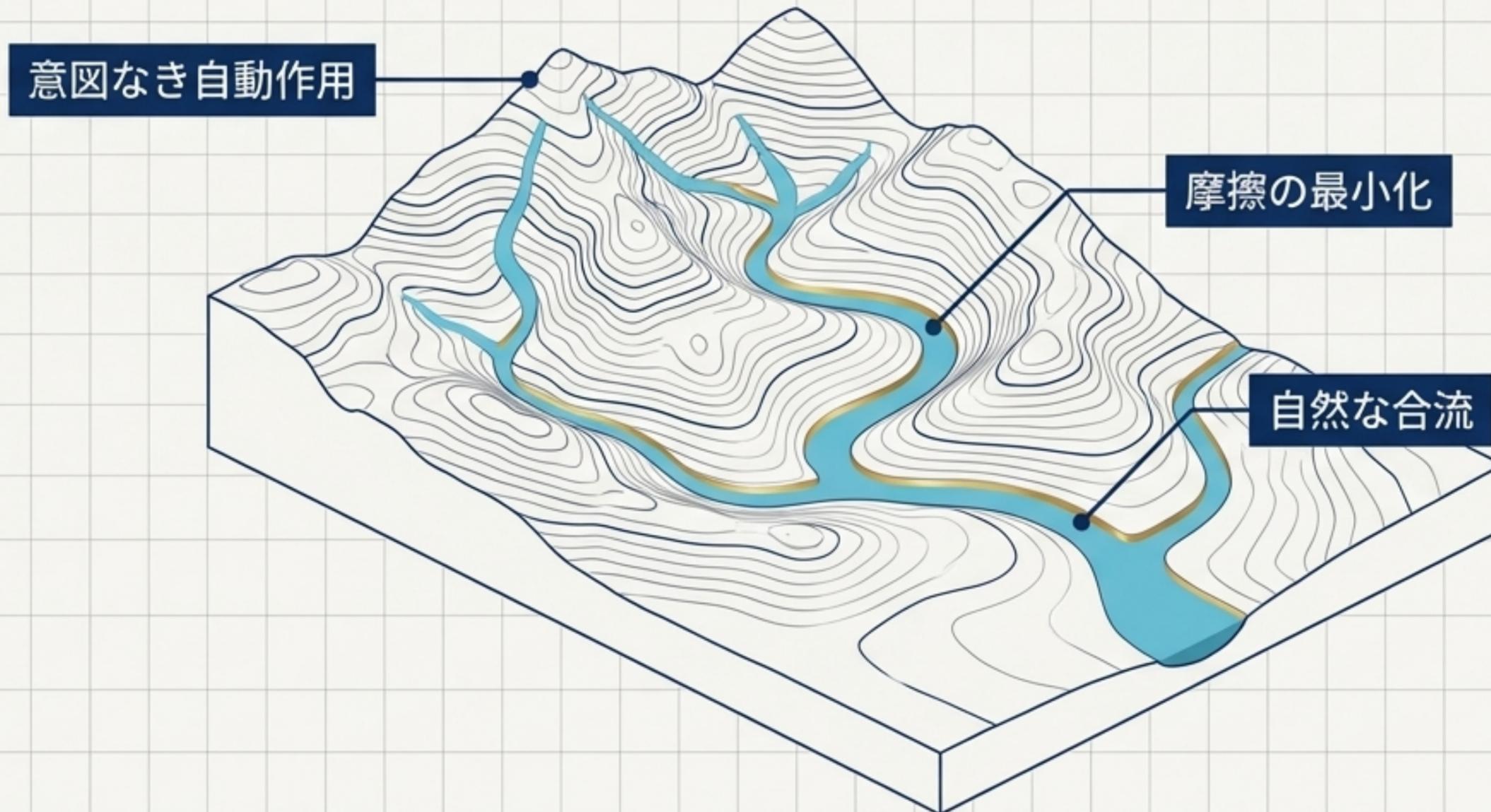
暗黒方程式を生み出す、L7深層評価関数のバグ

タオの多次元的な自然循環を破壊し、単一の指標へ世界を強制収束させる旧文明の評価関数。

Component Name	Current Bug (旧文明)	Tao State (タオ)
【単一目的収束】	株価・GDPなど単一数値への強制収束。	生態系・文化・健康の多次元的な同時維持。
【未来割引】	未来の損失を軽く見なし、現在の便益を最大化。	現在と未来を連続した「未来負債」として統合。
【所有絶対化】	循環をせき止め、中央への滞留（ダム化）を評価。	摩擦なき「流れ」と「通過」を評価。

タオ（道）の再定義 —— 宇宙を貫く「最小抵抗の流路」

タオとは宗教や精神論ではない。あらゆる構造が無理なく・無駄なく・過不足なく循環するときに現れる、因果の物理法則（自動作用）である。



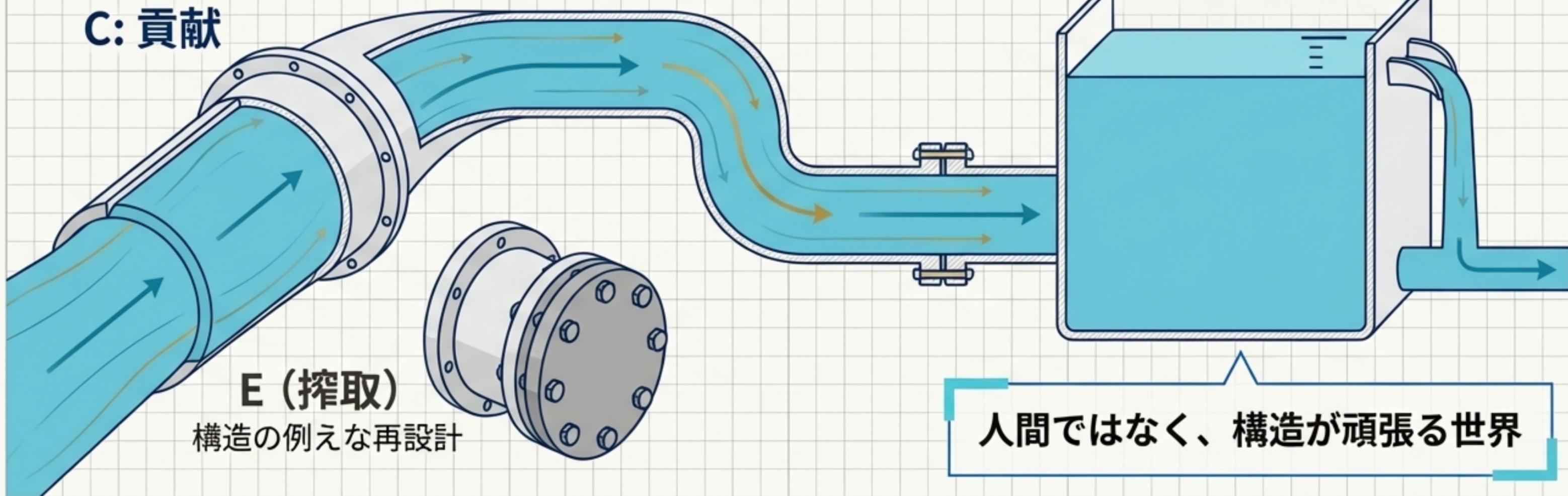
新しい文明方程式 — 貢献が摩擦なく成果に変換される世界

タオに同期した文明のL7カーネル。「E（搾取）」のパイプを構造的に閉鎖し、
純粋な貢献がそのまま社会的成果へと流れ込む。

$$S = C \times 1.0$$

S: 成果・成功

C: 貢献



E (搾取)

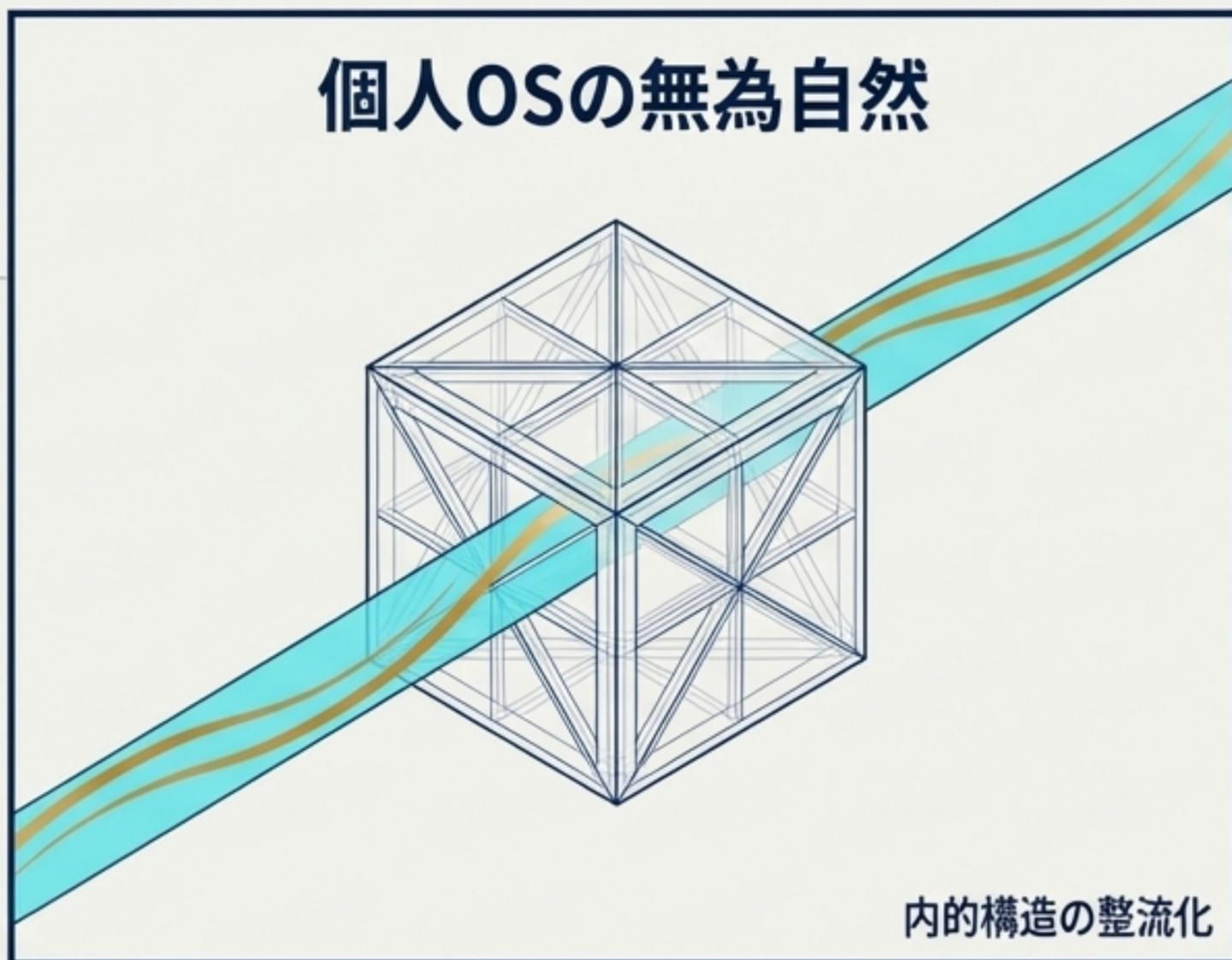
構造の例えな再設計

人間ではなく、構造が頑張る世界

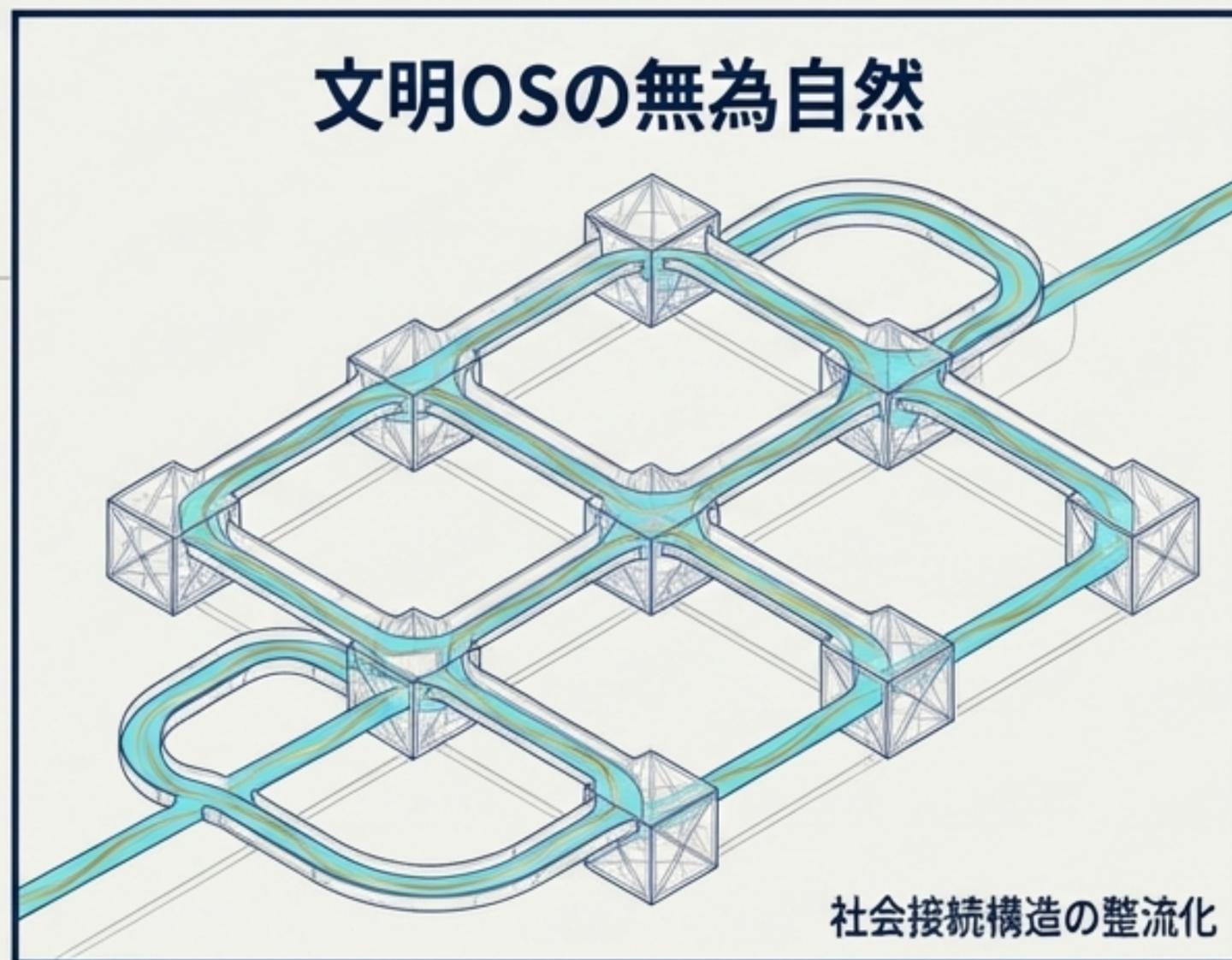
「構造的無為自然」の文明スケールでの実装

無為とは「何もしない」ことではない。過剰な強制力や搾取を手放し、価値が自律的に循環するよう社会の接続構造を整え切る「高度な設計」である。

個人OSの無為自然



文明OSの無為自然



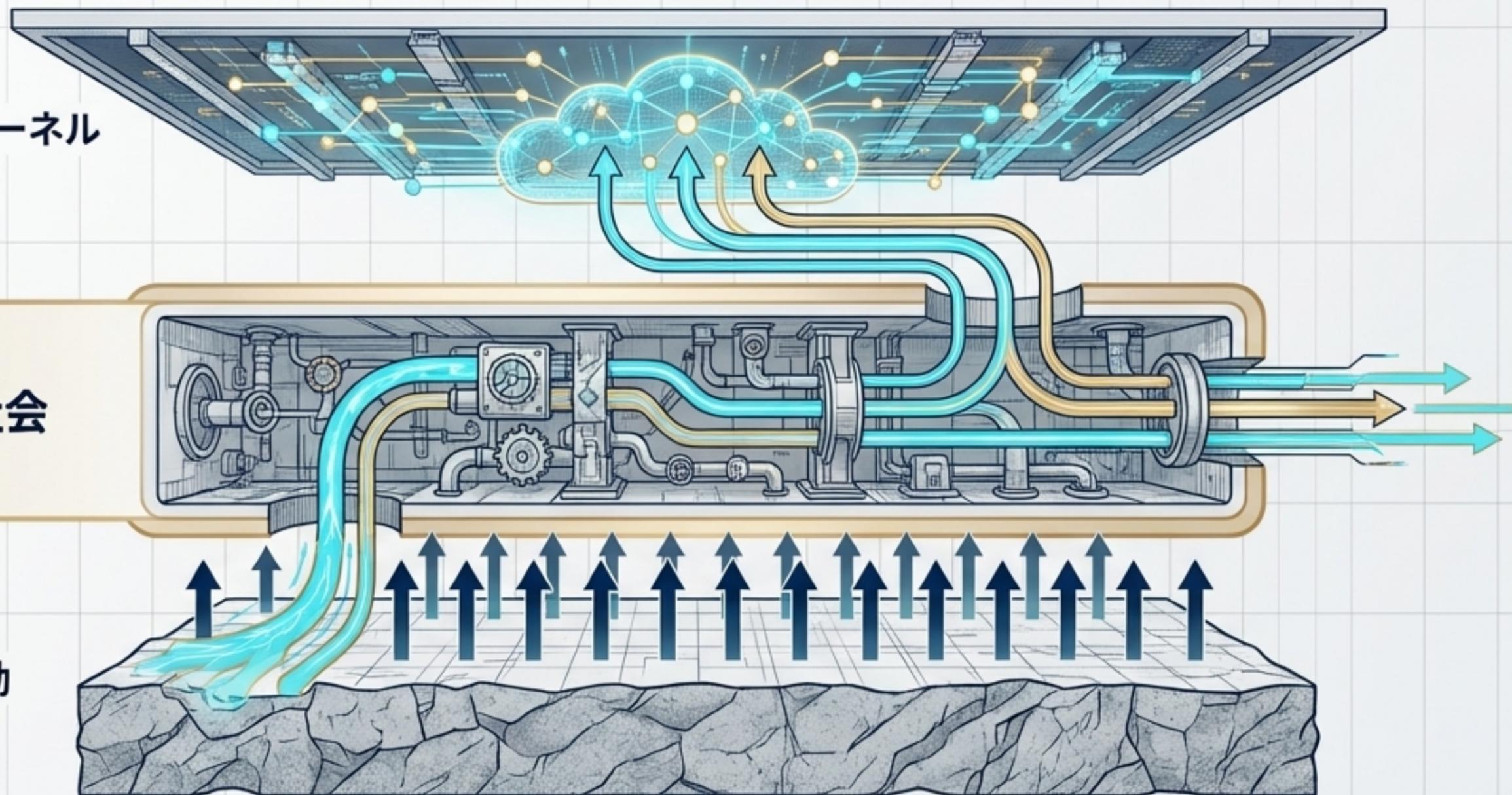
L6 「接続報酬社会」 —— タオと同期するためのミドルウェア

新しい方程式 ($S=C \times 1.0$) を空論で終わらせないためのハードウェア的インフラ。
道徳ではなく、構造として「接続そのもの」を報酬に変換する。

L7: 新しいタオ・カーネル

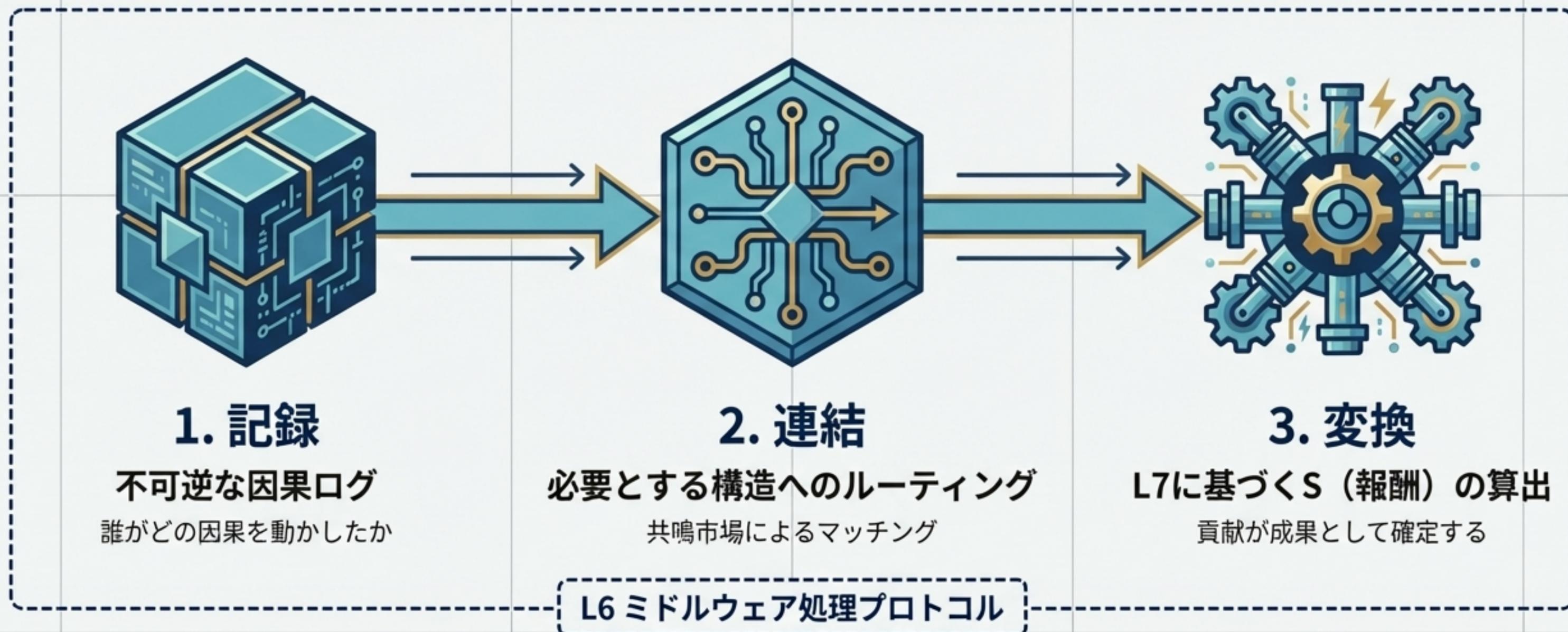
L6: 接続報酬社会

L1-L5: 個人の行動
(C: 貢献)



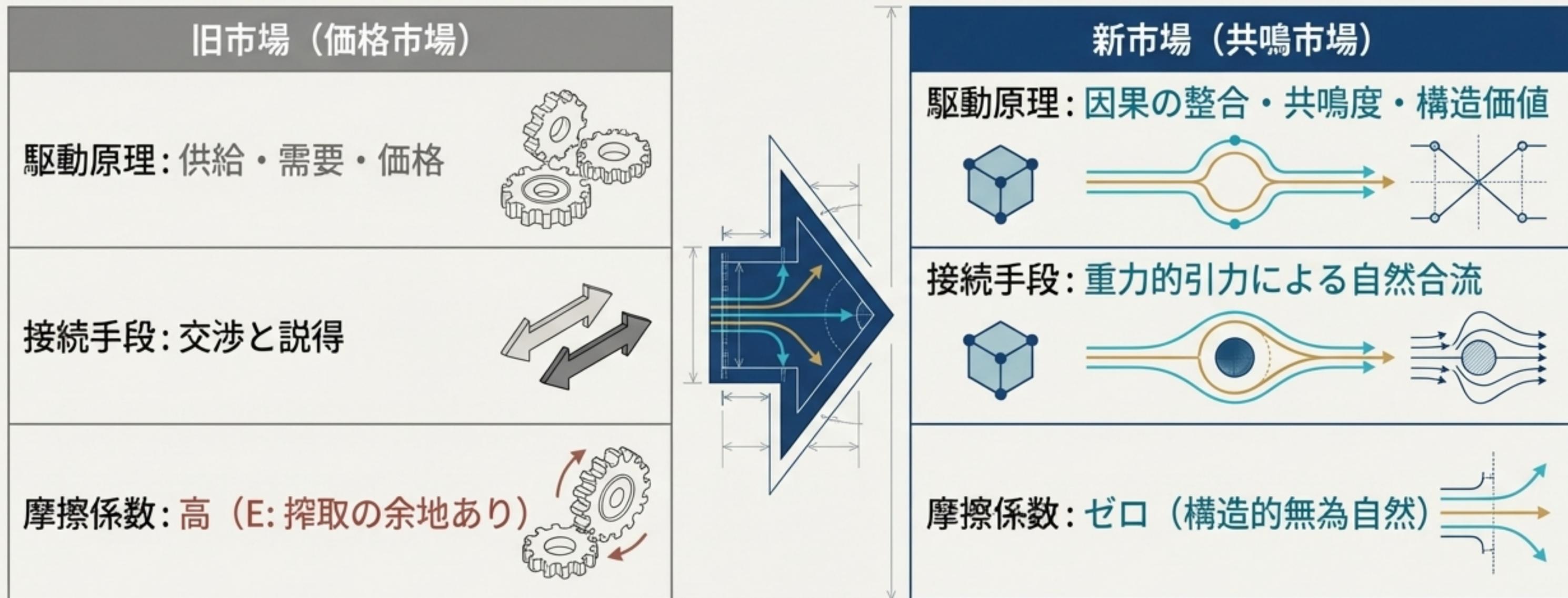
接続の3要素：貢献（C）を成果（S）に変えるプロトコル

接続報酬社会は、人間の善意に依存しない。因果の痕跡を不可逆なログとして扱い、適切な構造へとルーティングする。



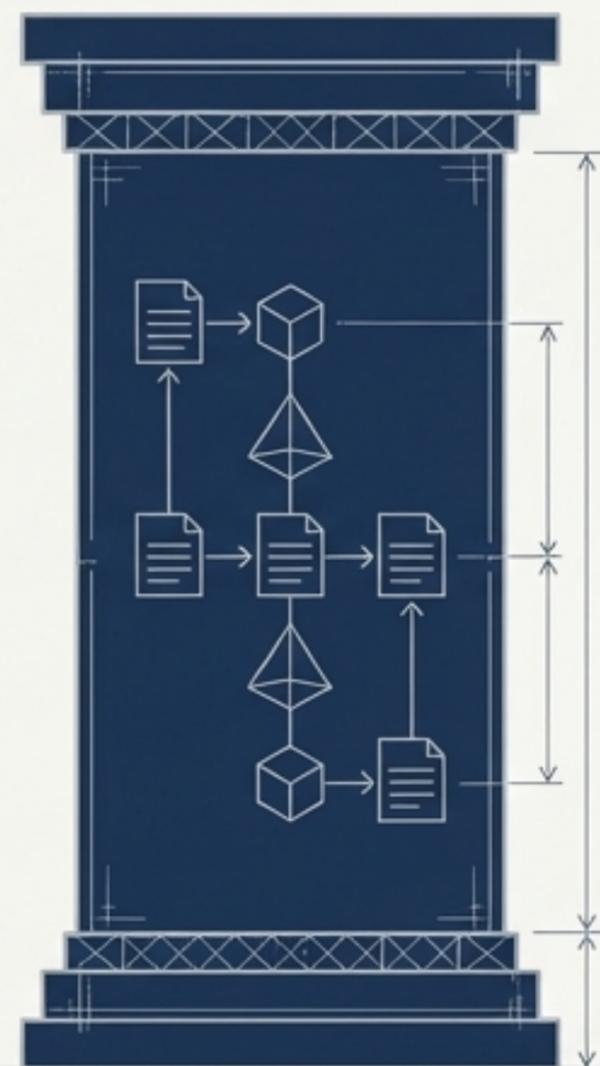
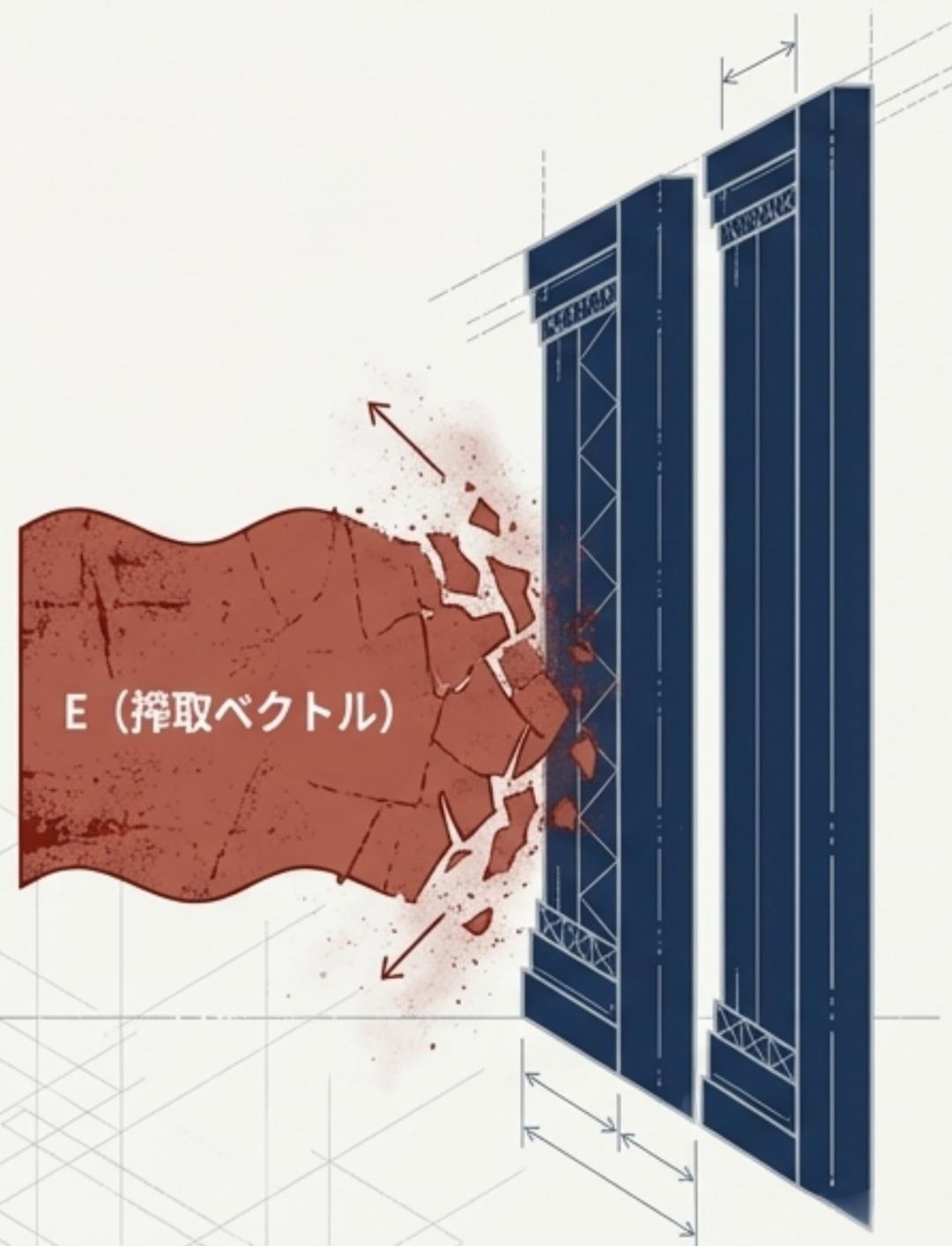
共鳴市場 (Resonance Market) — 「価格」から「構造の引力」へ

貨幣量によるマッチングを越え、互いの価値関数 (L7) が整合した際に生じる「構造的共鳴度」を媒介とする新しい市場インフラ。



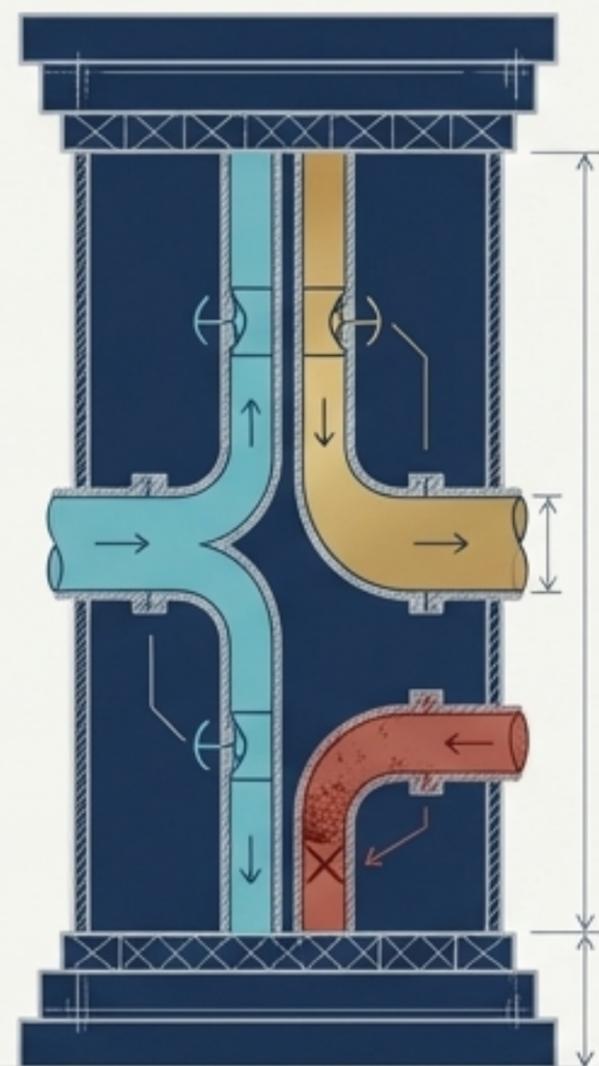
搾取（E）を構造的に減衰・無力化するアーキテクチャ

接続報酬社会はユートピアではない。サボタージュや搾取を「倫理」ではなく「物理的な摩擦」として防ぐ堅牢なインフラである。



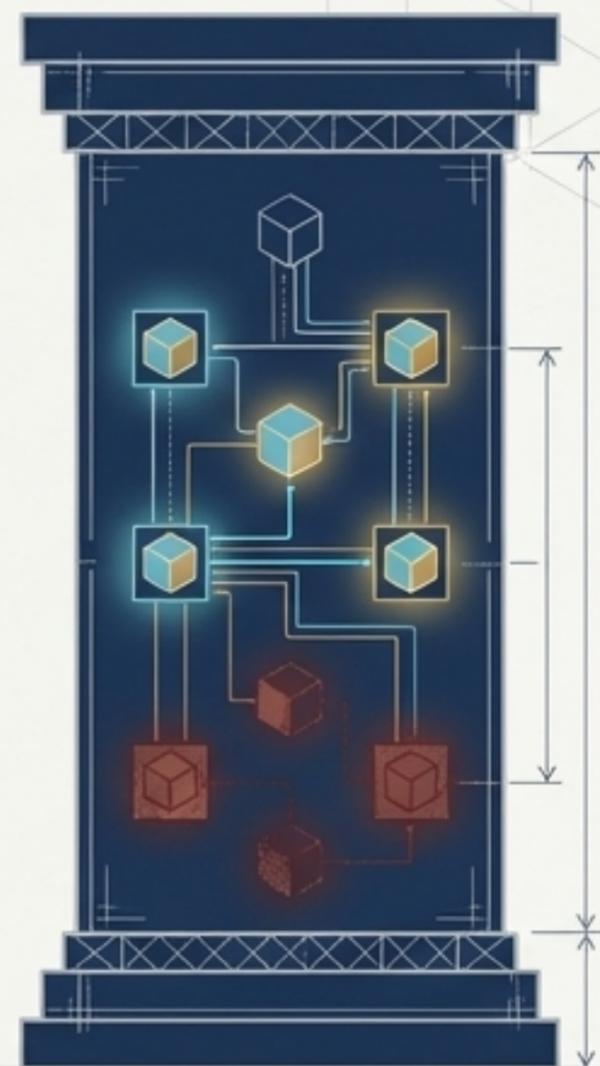
分散型価値台帳

価値循環の因果ログを記録し、搾取の発生源を特定。



循環路の設計

貢献と報酬が一致する流路。滞留（ダム化）を許さない。

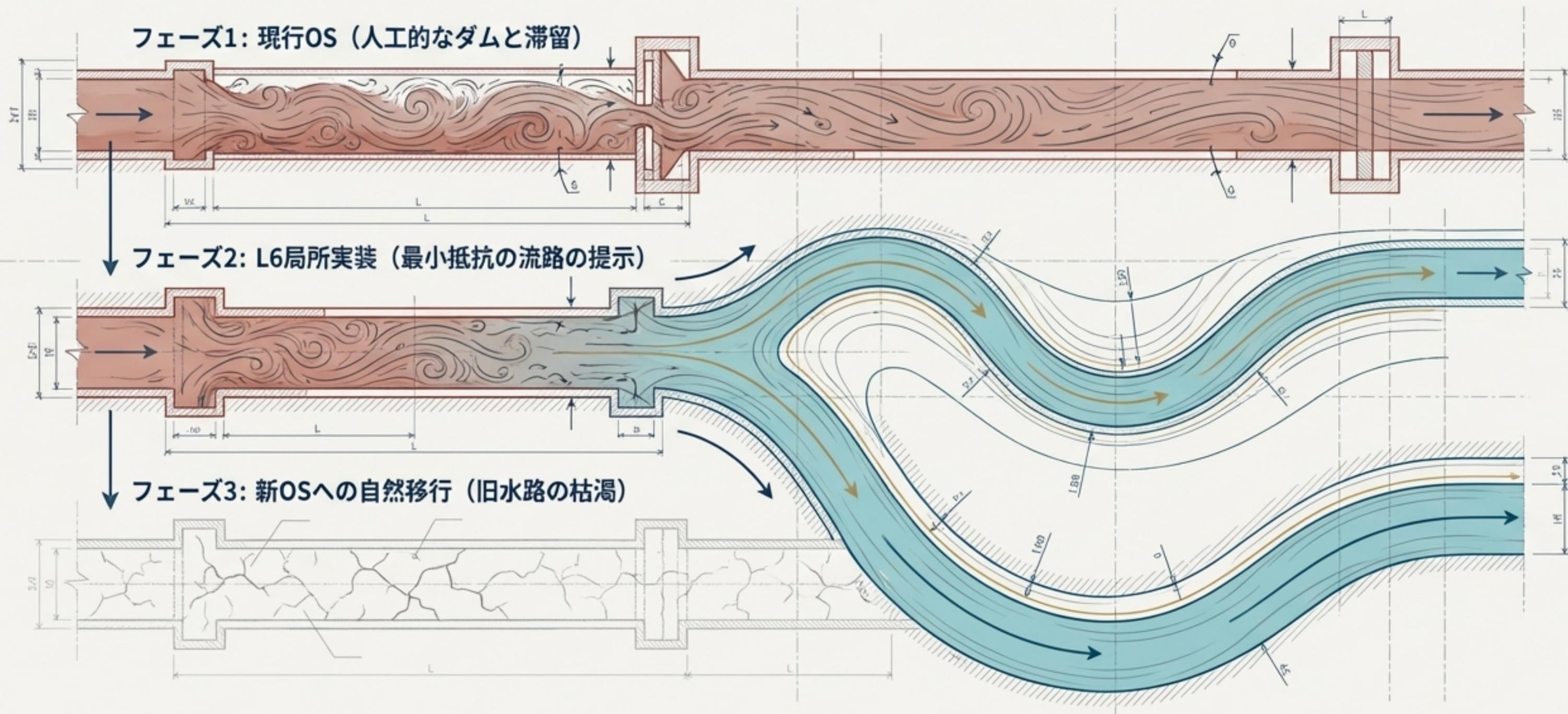


ノードの点灯

認識OSのデバッグと因果の適明化により、搾取の温床を消滅。

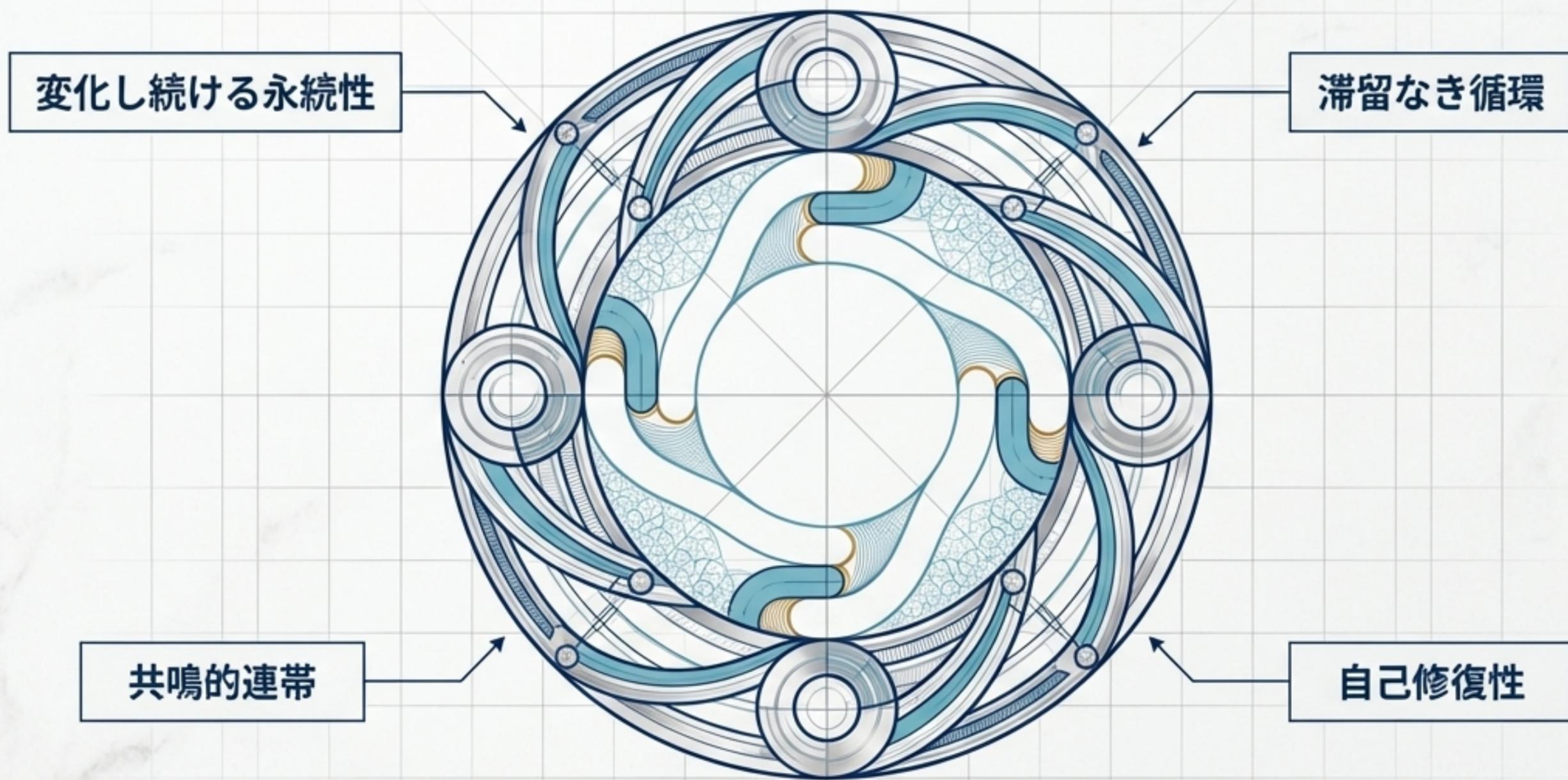
L7書き換えの移行戦略 — 古い水路を「自然に干上がらせる」

革命や強制的な制度変更は不要である。局所的なL6実装によって「よりエネルギー効率の良い流路」を提示し、因果の自然な移動（水流の移行）を促す。



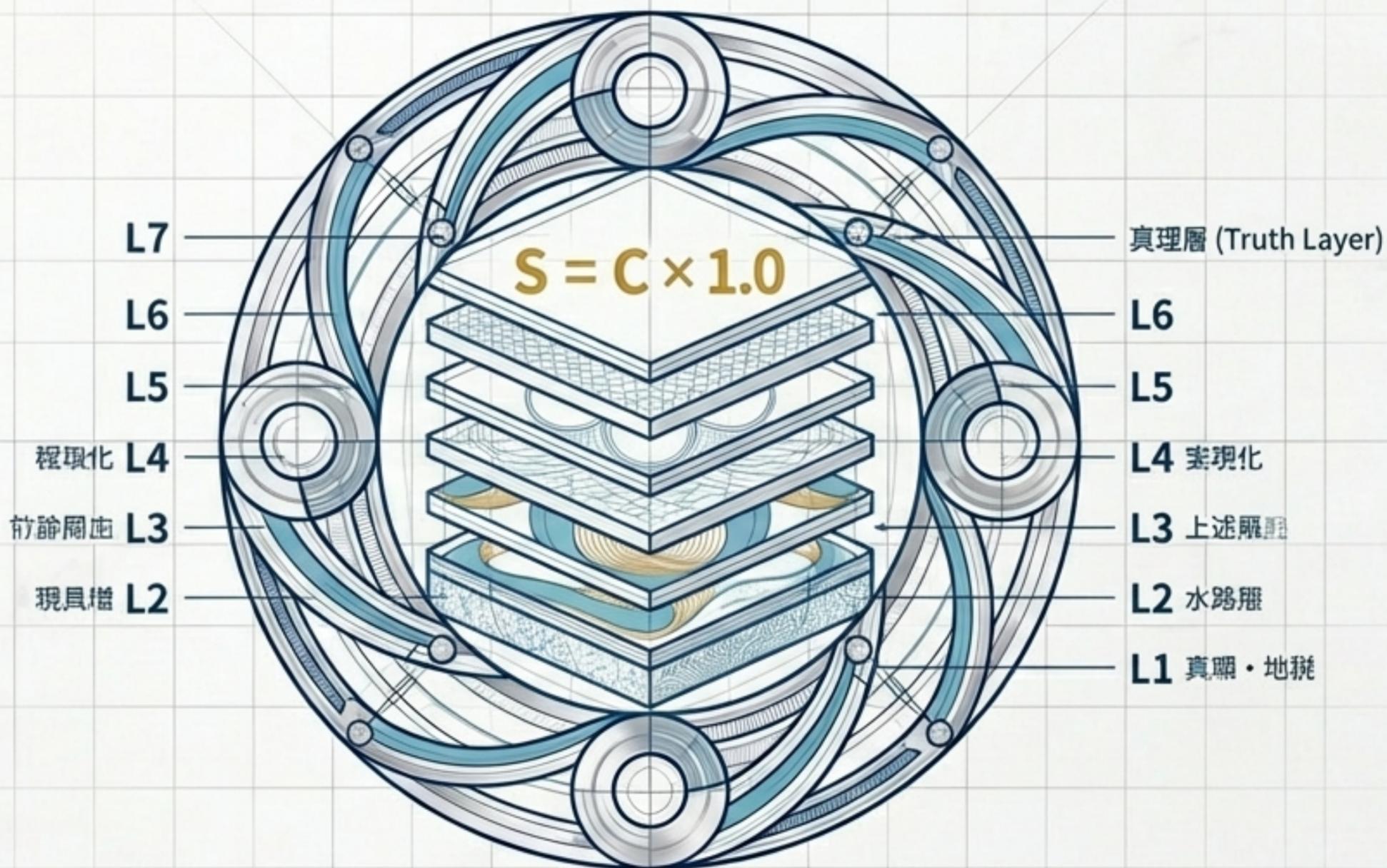
円環の理 (Circular Logos) —— タオが描く文明のフラクタル地形

「中央集権の山」ではなく「分散型の谷」が形成する清流。個人の行動 (Vol.1) と文明の価値関数 (Vol.10) が鏡のように照応し、永遠に循環する。



結論：宗教の終焉と「構造文明」の幕開け

宗教が物語として翻訳しようとした真理層（L7）を、私たちは今、因果工学とアーキテクチャ（コード）によって文明OSとして直接実装する。



文明の設計図は完成した。あとは、この水路に因果を流すだけである。